国土交通省
近畿地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism. Kinki Regional Development Bureau
Press release

令和2年3月6日　14時00分
資料配布　近畿地方整備局
姫路河川国道事務所

加古川バイパス開通から半世紀

～２０２０年３月８日に加古川バイパスが開通５０周年を迎えます～

2020 年 3 月 8 日で国道2号加古川バイパスが2車線開通してから50周年を迎えます。
この機会に加古川バイパスが担ってきた役割や整備効果、現状の課題について、知って頂くための様々な取組みを行っていきます。

加古川バイパスは、加古川市周辺の国道２号の交通混雑を緩和し、あわせて播磨臨海工業地帯と京阪神都市圏を結ぶ幹線道路としての役割を担うために整備され、昭和４５年３月に全線２車線で開通し、今年で５０年目を迎えることとなりました。

この大きな節目を迎えるにあたり、地域の方々をはじめ、関係者の皆様に加古川バイパスが担ってきた役割と整備効果、現状の課題について知って頂くため、以下の取組みを行っていきます。

■主な取組内容
①新聞やホームページ、Twitter などの広報媒体を用いての発信
②パネル展示
③パトロール車を用いた道路パト体験　等
※詳細な実施内容については、別途お知らせします。

＜取扱い＞　――――――――

＜配布場所＞　兵庫県政記者クラブ、加古川市政記者クラブ、明石市政記者クラブ、高砂市政記者クラブ

＜問合せ先＞　国土交通省　近畿地方整備局　姫路河川国道事務所
副所長　尾下（おした）　嘉春（よしはる）（内線205）
調査課長　前羽（まえば）　利治（としはる）（内線451）
電話:079－282－8211（代表）

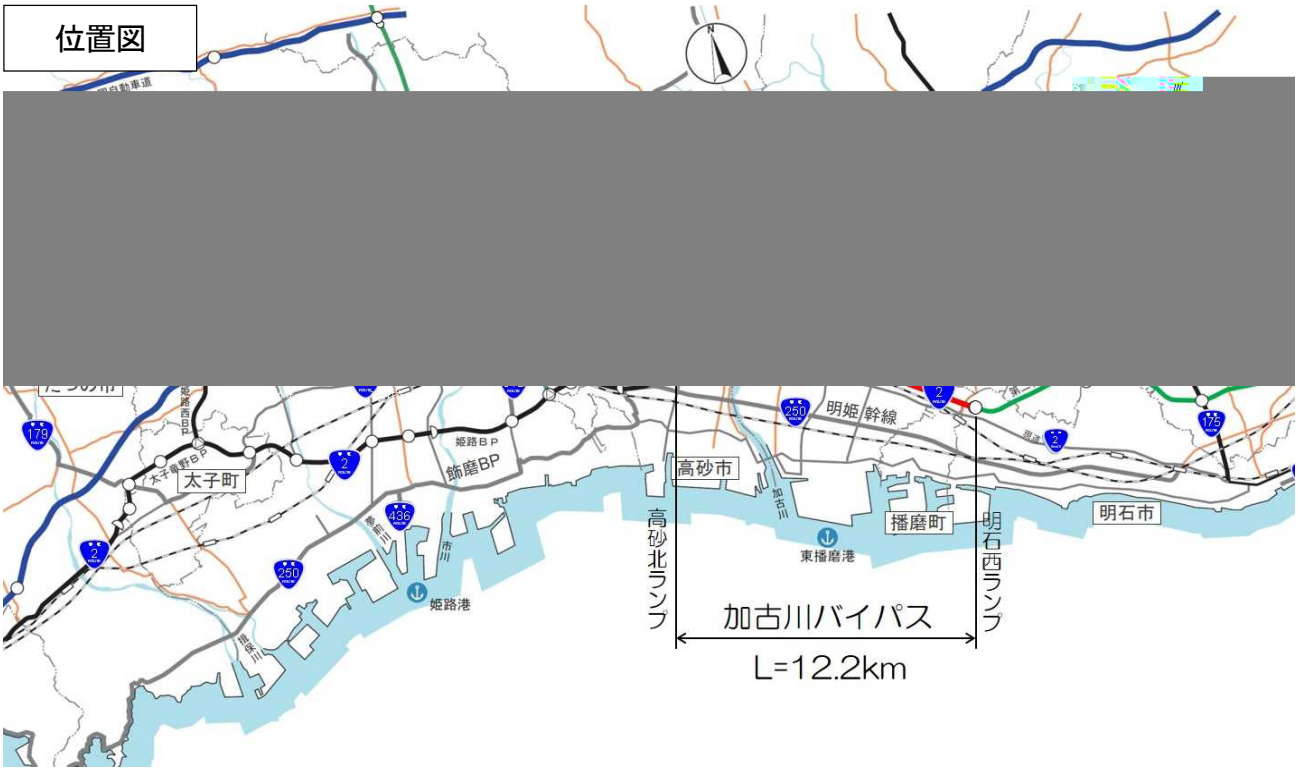
＜加古川バイパスのあゆみ＞

加古川バイパスは、明石市魚住町清水（明石西ランプ）を起点とし、高砂市阿弥陀町魚橋（高砂北ランプ）を終点とする延長12.2㎞の自動車専用道路です。

国道２号の交通混雑を解消するとともに、播磨臨海工業地帯と京阪神を結ぶ幹線道路として、昭和３９年度に工事着手し、昭和４５年３月に全線にわたって２車線で開通しました。

その後、昭和４９年３月に全線４車線にて開通しました。

位置図



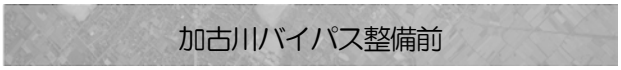
工事中の新加古川大橋

開通式の状況

＜加古川バイパスのいま＞

開通以来、バイパス沿道では人口増加に伴い急速に市街化が進むとともに、暮らしの中では自動車交通はますます重要となり、バイパスの交通量も飛躍的に増大し、地域に密着した生活道路としても大きな役割を果たしています。

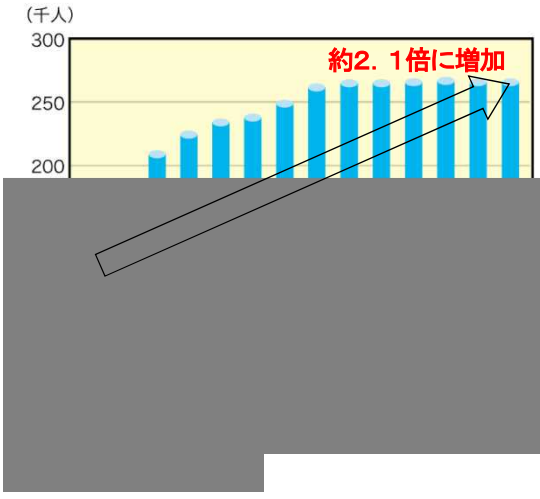
一方で、加古川バイパスは渋滞、交通事故などの交通課題も抱えており、今後も地域の重要な交通インフラとして機能を、将来にわたって果たしていくことが求められています。



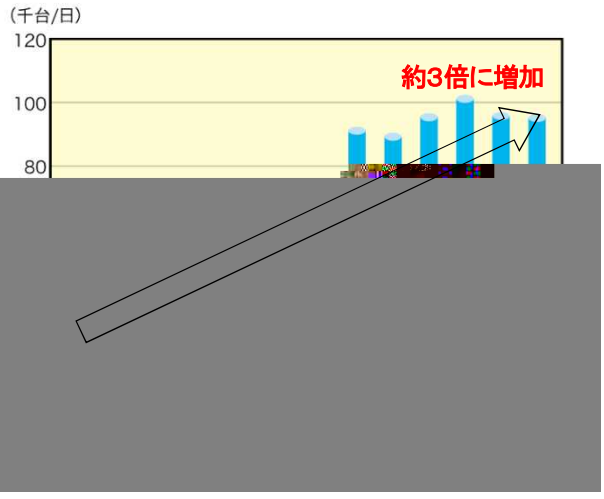
出典：国土地理院撮影の空中写真（1961 年撮影）

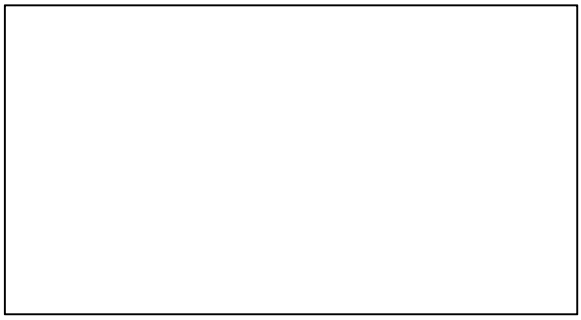
出典：国土地理院撮影の空中写真（2004 年撮影）

●加古川市の人口の推移



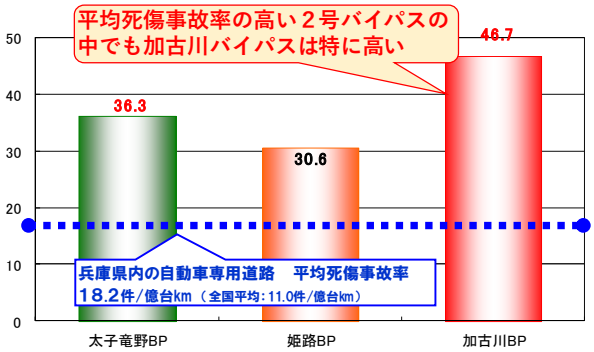
●加古川バイパスの通行台数の推移





加古川バイパスの渋滞状況（明石西ＩＣ付近）

●国道２号バイパスの死傷事故率



出典：ITARDAデータ ※事故件数は、H23年～H26年の年平均